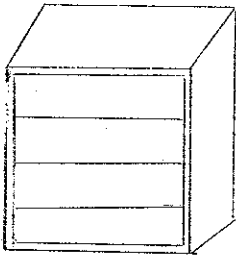
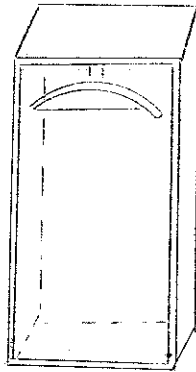


3. 内部構造

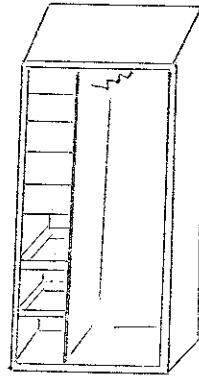
(イ) ユニット A



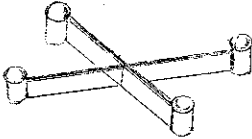
(ロ) ユニット B



(ハ) ユニット B'



4. 脚



左図のような脚をどのユニットにも適応できるようにして
ユニットの数だけ用意する。

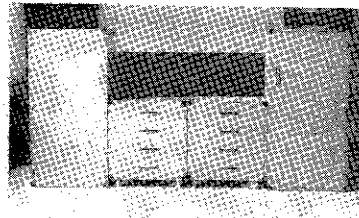
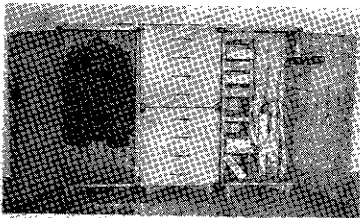
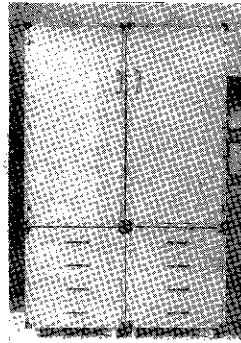
5. 装飾

構造体である隅木をユニットの各コーナーに用いて装飾性を高める。

6. 設計図

別添

IV 試作製品



Ⅴ 考 察

1. ユニットシステムによる組替えは試作製品にみられる通り可能であり、単独に使用することもできる。したがって室内における設置場所を限定されない。
2. 重量はユニットAが16KG、Bが15KG、B'が23KGとなり、運搬及び室内配置が一人の力で容易になる。
3. 高さ120cm、巾60cm、奥行45cmというサイズは、畳を基準にしている室内においては圧迫感を減じ、調和をはかり易い。
4. 和室においては、脚部を台輪にすることも可能である。
5. 内部の構造を工夫することによって、用途にそった展開を計ることができる。

